



Rotary



東京八王子西
ロータリークラブ

Report

2019-2020 No.12 令和2年2月7日

●会長標語

会長 石森 浩元

ロータリーをたのしもう

今週のプログラム

- 第2586回(2/7)
- 会場 京王プラザホテル八王子

- *三祝
- *100%出席表彰
- *イニシエーションスピーチ 本橋 毅会員

次のプログラム

- 第2587回(2/14)
- 会場 京王プラザホテル八王子

- *卓話：八王子市薬剤師協会理事 木下晶子氏
- テーマ：「薬との付き合い方」

卓話「潜水艦艦長は命令しない海上自衛隊式最強リーダーシップ論」

2020年1月24日(金)



元海上自衛隊海将
伊藤 俊幸 様

現在リーダーシップ論の教授をしています。皆さんが部下の方によくおつしやられている言葉があると思います。「お前はどう思うのか」「自由に意見を言うてくれ」と。でもなぜか部下からの意見はなく、「言われたことしかやらない。」「ちよつときつうく言う」とシユンとなる。といったイエスマンが多いと感じておられるでしょう。私はこの3月で62歳になります。我が々の時代は理不尽な上司が多く、時には殴られるもしましたが、それでも負けるものかと食らいついていきました。しかし今の人たちにそれを求めてはいけません。なぜなら彼らはご両親から、叩かれるのももちろん、叱られたことすらないからです。そういった人たちに對して、「自分たちはこうだった」と、今まで通り「いいから言うことを聞け」という専制型のリーダーシップではもう通用し

ない時代になっているのです。そもそも「リーダーシップ」の定義は、「メンバーが自発的にそのリーダーに従おうという気持ちを原動力として組織集団を動かす方法論」です。この人についていきたい「この人の為なら死んでもいい」という力を使って組織集団を動かすのであり、大きな声で皆の前に立ち、「我に続け」ではないのです。これがリーダーシップの学問上の定義なのですが、日本ではなかなか教えられていません。

一方、75年前に書かれたアメリカ海軍の教本には「一人の人間が他の人間の心からの服従、信頼、尊敬、忠実な協力を得られるようなやり方で、人間の思考、計画、行為を指揮でき、かつそのような特権をもてるようになるための、アート・サイエンス・天分である」とリーダーシップが定義されています。つまり技術論であり、心理学などの科学的な手法を駆使してどうやって部下のやる気やモチベーションを上げさせるかという学問だということです。ですから経営管理学的においても、組織論の分野としてリーダーシップ論が位置づけられているのです。その最新の理論は「自己変革リーダーシップ

論」、その前に提唱されたものが「サーバントリーダーシップ論」といいです。「正しいフォロワーこそ良きリーダーになる」という「自己変革リーダーシップ論」は「フォロアーシップ論」と呼んでも良い概念です。

では「正しいフォロワーの在り方」とは何かということ。よく考えれば、会社の場合、社長以外は全員フォロワーです。ところが日本では、全員に「リーダー」と指導されるから、特に本部長や部長など、長と名のつく役職の人たちは自分が社長のフォロワー（補佐役だということ）が薄くなっているのではないか。その結果、部長たちからは「社長がこう言っていた」と伝言ゲームが始まり、下の課長も「部長から、こう言われた」と皆スルーパスをする。最後は一番下の担当者が社長の命令を全部受け、「どうしたらいいでしょう」と聞くと「それはお前が考えろ」と突き放される。こういった関係が今日本中の会社組織で起きているのではないかと心配しています。本来その階層の人たちは、社長を直接補佐するフォロワーとしての役割を果たさなければならぬのですが、下手をすると言われたことだ

けやっておけばいいというワーカー（作業員）に、部長自身がなっている場合があるのです。

リーダー・フォロアー・ワーカーの関係

フォロアーとは何をすべきか。リーダーシップとは人がついてこようとする「リーダーのあり様」ですから、人の「模範」となり「ビジョン」を示し「決定」「影響」を与え「責任」を負う人になるよう努力すべきでしょう。最低限こういった素養がなければ人はついていきません。それに対して、フォロアーシップ、「フォロアーのあり様」とは何か。これは、「言わなければ、リーダーを「補佐」する」ということです。その下には、ワーカー（作業員）として命ぜられたことをきちつと果たす人たちがいて、この人たちの存在も極めて重要ですが、今回のお話は、この方たちは対象としておりません。

「補佐する」という具体的な行動の二つは、リーダーのビジョンやイメージを「翻訳して具体化する」とことです。別の言い方をすると「よく咀嚼したうえで、自分の本部・部・課に会うよう具体的方策を作る」ということです。その為にフォロワーは、まず

社長のイメージが完全に共有できなければなりません。一回の指示で理解できなければ、「よく分からなかったので、もう1度お願いします。」と、どんどん突っ込んでいく勇気が補佐役には求められるのです。

私は海上自衛隊の呉地方総監として9000人の部下を率い、40隻の艦艇・潜水艦、そして航空機を指揮する立場にありましたが、私の任務は、これから行う作戦や作業の目的や手段の方向性を示すことでした。艦艇や潜水艦をどう使うかという具体策は、群司令や隊司令といった次の階層の指揮官たちが考える。さらにその下の艦長や機長は、艦艇や航空機などを操縦するとともに乗組員を指揮・統率するのです。これらの長のことを自衛隊では各級指揮官と言いますが、各級指揮官は、まず自分の上官に対するフォロワーとして「我何をすべきか」を自問自答し、我の上級指揮官の考えの根幹、その先にある目的を考える「使命の分析」を行うのです。

次にその具体策や、場合によつてはその上級指揮官から示された戦略や方向性に関するリコメンド（提案・進言）をするのです。「その理由・背景なら、もっとこうしたほうがいいのではないですか」「私が指揮官

だつたらこうします」と積極的に進言し、組織にしっかりと貢献する。大事なのは当事者意識です。言われたからではなく「自分ごととして従う」ということです。

そしてこういう部下が育つていくと、上司はいちいち命令する必要がなくなつていきます。社長に代わつて「私だつたらこうします」とどんどん言つてくれる。トップの発する言葉は、それが正しければ「了解」、違つていたら「待て」といつて再考させる。トップはこの二つだけで良いのです。これがタイトルにある「潜水艦艦長は命令しない」ということです。上の方はもっと大所高所から様々な判断をする立場にあるのです。職場は上司が一つ手取り足取り教える学校ではありません。しっかりと部下にリコメンドさせ、報告させることを習慣づける。上司は判断にその労力を集中する。これが組織文化になれば活気ある職場になるでしょう。そしてこれが先進国における軍隊の幹部教育のありようなのです。

このように若年幹部のころからトップに対する意見具申が求められるのは、戦争になつた場合、艦長や司令官が最初に戦死するかもしれないからです。次席指揮官それがなくなつたら次の指揮官と、幹部教育を受

けたものであれば、いつでも艦長に代わつて艦を指揮し続けなければならぬ。若いころから常に他人事ではなく「自分ごと」と捉えて考える幹部を育てていないと、その艦は指揮官の戦死とともに終わつてしまいます。更に緊急事態においては、現場の判断を優先し独断専行する。こうでなければ、戦には負けてしまうのです。

サーバント リーダーシップ

— そうやつて出来上がったリーダーはどういう人か？ あるいは部下のリコメンドを許すリーダーとはどんな人か？ これが「サーバントリーダーシップ論」です。リーダーは「部下の上でふんぞり返つてゐるのではなく、逆にサーバント（召使）として部下たちを支える人」であれ。これが真のリーダーのあり様だという理論です。今や国際試合で外国チームと対等に戦える日本のラグビーやサッカー。今の日本代表監督は、実は皆サーバントリーダーなのです。戦略の方向性やチームプレーとしての基本的考え方やイメージを示し徹底する一方で、個々の運動や動きについては個人に任せ、自ら考えさせる場や雰囲気を作る監督です。会社組織においても、欧米ではこの考え方が当たり前になつ

ています。トップのあるべき姿としてサーバントリーダーが求められるようになったきっかけは、2001年のエンロン事件でした。サーバントリーダーシップ論は、元々グリーンリーフ博士が1970年代ベトナム戦争やクソン大統領の弾劾により、アメリカ人がリーダーに失望したことを背景に作られた理論です。「上司は部下の上に立つて偉そうにしているだけではだめだ」「そもそもリーダーこそチェックする必要がある。まさに日産、カルロス・ゴーンになつてしまふのですね。その後、このエンロン事件により、改めて同理論は注目されました。そしてその結果策定されたSOX法などにより、内部統制強化や社外取締役の制度ができ、これらはすべて社長に対するチェック機能なのです。日本にも同制度は入ってきましたが形骸化してしまいました。しかしそれも今年から、会社法改正やパワハラ防止法などによつて厳格化されることとなります。リーダーシップも国際基準に基づく時代が来たということです。

最近ビジネス用語としてよく出てくる「心理的安全性」という用語をご存じですか？ グーグルは、4年間かけて「チームのパフォーマンス向上」に関する研究をし、その結果5つの柱を生み出しました。そしてその最初の

柱が、「心理的安全性の確保」なのです。「チームの中でミスをして、それを理由に非難されることはないと思える状態」とされています。別の言い方をすれば、「恐怖や不安を感じることなく自分の意見を自由に伝えられる状態」。こんなことを言つたら「無能だと思われるのが嫌だ」「ネガティブだと思われたくない」と発言を止めてしまふ。皆さんが、「若者は自由に私に言つてこい」と伝えてもそれができないのは、彼らにとつては、「心理的安全性が確保されていない」からなのです。この用語はこれから世の中にどんどん出てくると思えます。例えば働き方改革によるクオリティーオブライフはこの状態が必要で、仕事のやりがいを感じるためにも必要です。この心理的安全性を担保することこそがトップの仕事になってきたのです。正にサーバントリーダーシップの特徴である「傾聴」「共感」「癒し」「気づき」……これらが、リーダーの行う業務になつたのです。その具体策として言われるのが1on1ミーティングです。これは面接ではありません。実は普段の仕事場では、上司と部下が腹を割つて話す機会は、あるようでほとんどないのです。ですから週1回ほど、定期的に固定した時間を作り、15分以上上司と部下が1対1で話す

時間を確保する。決められた話をするではありません。あくまで部下の成長のために上司が時間を作ることが重要なのです。この場合二人の席順は、真正面に向き合つてはいけません。斜めか横に座り、テーブル上にあるPCなどを一緒に見る。これが共感の状態であり、1on1ミーティングの基本形です。これも元々シリコンバレーで生まれた方法です。

海上自衛隊、特に潜水艦のような閉鎖的で運命共同体の社会では皆さんがイメージするような階級意識は、実は希薄です。艦長は、70名全員の性格から夜の遊びまで全て知っています。今度護衛艦が中東に派遣されますが、危険な場所に派遣される際、トップと部下にこういった関係がなければ乗組員はついてきません。乗組員のモチベーション維持は、指揮官の重要な任務の一つです。ですから私は、昨年暮れの閣議決定には正直腹が立ちました。日本船主協会から何の依頼もない中、トランプ大統領に言われたからという政治的理由だけで派遣が決まったからです。しかし今年になり中東は戦争になるかもしれない状況になりました。このように不安定な状況が起きたからこそ、自衛隊が派遣される意味がでてきたのです。丸腰で行く民

間のタンカーにとつて、近くに「自衛隊がいる」という安心感こそが最も重要なポイントになりました。「我々は役に立っている。」乗組員は誇りを持って危険な任務に臨めるのです。リーダーはこうしたことを常に考え、部下に対して真の意味での「癒し」を与える立場なのです。その為には、彼らの「心の状態」も常に観察することが指揮官にとつて重要な任務の一つなのです。理論的なことばかりを言っているように聞こえるかと思いますが、実は軍事組織こそ心理学的なアプローチをしていることをご紹介して私の話は終わります。

例会 報告

第2584回 ●2020・1・24 (金)

◇司会 野口文男会場監督

◇開会点鐘 石森浩元会長

◇Rソング それでこそロータリー

◇お客様のご紹介

元海上自衛隊海将伊藤俊幸様、

株式会社SHOEI

代表取締役戸田雅彦様

◇食事と交歓 中華

◇出席報告 測上出席委員

会員110名中65名出席。

出席率66・33%。前回1月

10日の出席率80・80%を

80・89%に修正します。

◇二〇二〇発表 松島財務委員長

◇会長挨拶 石森浩元会長

*大分寒くなつて参りまして、今週末は雪になるかもという予報です。

*昨日、古くからの知人のお父様が亡くなったので、新青森の二つ手前の所まで行つてきました。午後に出て夜中に帰つてきましたが、非常に寒かつたです。年末の例会でもお話ししたように、僕は頸椎のヘルニアをやつたせいで、寒いと右半身が痛くなるんです。このところ薬を飲むのを控えていたのですが、今日はあまりに痛いので飲んでみました。最近よく神辺幹事に怒られるのですが、この薬を飲むと物忘れが激しいです。自分でも何を言っているのかわからなくなりまして、思つてなくても口走つてしまうこともあり

ますが、その辺はご容赦願いたいと思います。

*皆様もお身体には充分お気を付けていただきたいと思ひます。

*本日は、伊藤先生に卓話をさせていただきます。先程「どういうリーダーシップを取るのが大事なのか」について少しお話しをさせていただきました。他のロータリークラブやライオンズクラブで卓話をする機会が非常に多いということですが、大変ためになるお話を聞くことができると思ひますの

で、是非皆様楽しみにしていただく。

◇幹事報告 神辺和幸幹事

*本日ポストの方へ八王子5クラブの例会予定表と下半期の例会予定表の2枚をお入れしました。ご予約のほど宜しくお願い申し上げます。

*2750地区よりパラリンピック支援ロータリーボッチャ大会のご案内です。オリンピック・パラリンピック支援の一環として、地区大会が開催される2/25(火)10:00~12:30昼食付で実施されます。各クラブより2名以上の参加が要請されていますので、我こそはという方がいらつしやいましたらお申し込みください。いらつしやらない場合は私の方から指名させていただきます。もしれませんので宜しくお願ひいたします。

*第7回八王子5クラブ合同親睦ゴルフコンペのご案内です。5/20(水)八王子カントリークラブにて開催されます。本日例会終了後に皆様にFA X及びメールでご案内をいたします。是非多くの方に参加いただきませすようお願いいたします。

*訃報のご連絡です。当クラブ黒須隆一名誉会員並びに黒須弘道会員のお母様が1/18に享年99歳でお亡くなり

になりました。ここに心より哀悼の意を表すとともに謹んでお知らせ申し上げます。お通夜は本日1/24(金)18時より19時、告別式は1/25(土)12時より13時に榎原斎場で執り行われます。

*次回の例会は1/31(金)より2/1(土)に振り替えます。12:30より京王プラザホテル八王子4階にて例会を開催いたします。その後14時よりクリエイティブホール5階に於いて読書感想画・感想文コンクールの表彰式がございます。なお、1/31(金)にはマイクアップ紙を用意いたしますので、ご都合の悪い方はマイクアップを宜しくお願ひいたします。

*本日例会終了後に、第39回第2750地区親睦ゴルフ決勝大会の実行委員会を開催いたしますので、該当される方はご出席いただきますようお願い申し上げます。

◇スピーチ紹介
秋間勝仁プログラム委員長
スピーチ
元海上自衛隊海将伊藤俊幸氏
テーマ
「潜水艦艦長は命令しない海上自衛隊式最強リーダーシップ論」

◇スピーチへ謝礼贈呈
石森浩元会長

◇閉会点鐘 石森浩元会長

卓話 「第4次読書のまち八王子 推進計画の策定について」

2020年2月1日



八王子市教育委員会図書館部
部長 佐藤 宏 様

本日は市が進める、読書のまち八王子の取り組みについてご説明させていただきます。

最近の話題になりますが、昨年OECDで実施しました、生徒の学習到達度調査の結果が公表されました。新聞でも大きく報じられましたが、その中で日本の15才の読解力がの低下に非常に注目があつりました。2000年からの数位を見ますと、数学的リテラシーや科学的リテラシーは世界のトップレベルであります。読解力については前回（2015年実施）より平均順位が低下しています。また、今回読解力について詳細な調査を行ったところ底得点層が増加していることがわかりました。これは、判断の根拠や理由を明確にして、自分の考えを

述べることに對して課題がある。ということ。さらに、学習活動におけるデジタル機器の利用が他のOECD加盟国に對して低調であることが明らかになりました。文科省はこれらの課題に對応して、児童・生徒の学力向上を図るために令和2年度から新学習指導要領の改定により主体的、対話的で深い学びという視点から授業改善や言語能力、情報活用能力育成の為の指導を充実させること。また、学校における一人一台コンピュータの実現、ICT環境の整備等の効果的な活用を推進しようとしています。これは、ただ読むだけではなく、書く、話すというアウトプットを重視せよということ、これは国際的な潮流であり、これからの社会で必要な基礎学力が身に付かないということ、文科省では力点を変えてきています。

国立青少年教育振興機構が昨年12月に発表した読書習慣に關して調査した結果では、3つのがわかつてきました。一つは、年代に關係なく、本（紙媒体）を読まない人が増えている。二つ目は、一方で、スマートフォン

やタブレットなどのスマートデバイスを使った読書は増えている。そしてもう一つは、読書のツールに關係なく、読書している人はしていない人よりも意識・非認知能力が高い傾向があるが、本（紙媒体）で読書している人の非認知能力は最も高い傾向がある。ということ。です。

国の動向

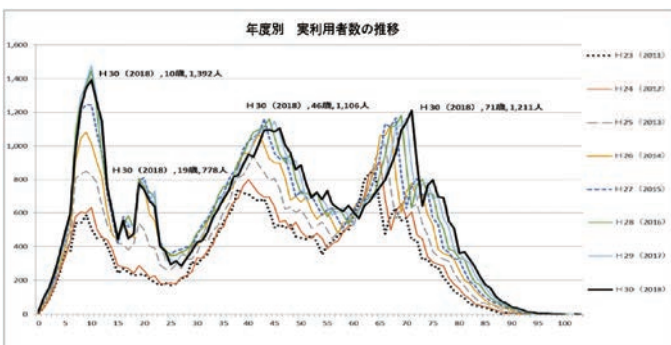
国は平成13年12月に子どもの読書活動の推進に關する法律を公布しました。子どもの読書活動を推進する基本理念を定めたところです。この法律に基づき基本計画を策定し、平成30年4月に第4次の計画を更新しました。第3次基本計画の期間におきまして、児童用図書の出冊数の増加や全校一斉読書活動を行う割合を増加させました。取り巻く情勢の変化としては、学校司書の法制化だったり、学校図書館の活用、読書活動を充実する規定が学習指導要領に入ったり、スマートフォンの普及やコミュニケーションツールの多様化などがありました。そして、これに對する主な課題として不読率（一ヶ月

に一冊も本を読まなかった人の割合）というのがあり、小学生、中学生は中長期的には改善。高校生は高い状況にあります。いずれも目標には届いておりません。これまでの状況から3つの要因が考えられます。一つが中学生までの読書習慣が不十分であること。もう一つが高校生になり読書の関心度が低下していること。そしてもう一つはスマートフォンの影響があり、今後これらにどういふ対応をしていくかがポイントになります。国の読書活動の推進方策としては、読書習慣の形成に向けて、発達段階ごとの効果的な取組や、友人同士で本を薦め合うなど読書への関心を高める取組が必要だとしております。

図書館の利用状況

住民基本台帳と図書館実利用者の關係図では、平成30年の人口に占める登録者の割合を見ますと23%ということ、4人に一人は利用登録をしております。例年このような割合になつております。このうち、実利用（登録者のうち一年に一回以上利用した方）はだいたい一

割ぐらいいになります。さらに年齢別に調べますと、10才、20才、45才、70才が多いです。一方、小学校高学年から高校生の年代では図書館の利用は低くなつており、不読率は同様の傾向があります。次に実利用者の経年変化を見てみますと小学校3年生4年生は増えてきています。10才前後の利用が、ここ5年間で増えていきます。また、40代を中心とした方々も比較的多く60才以降の現役を退いた方々の利用も増えてきています。



八王子市のとりくみ

まず子ども向けには、3〜4ヶ月児検診時に赤ちゃんと保護者に絵本をプレゼントするブックスタートをはじめております。また、ごもおはなし会や読書案内の他、東京八王子西ロータリークラブの皆さんのお力ではじまった読書感想文コンクールと海外友好交流都市への台湾派遣といったジュニア国際交流事業などを行っております。また、大人向け生涯読書活動としまして八王子千人塾というのがございます。これは、60才以上の方を対象にした事業で、塾生自らがテーマを決めて、図書館の本を使って塾生間で交流を図りながら調べ物をしたりと、学んだり、それをレポートとしてまとめて発表するといった会があります。また、中央大学との共同研究も行っております。読書感想文の分析というテーマで前任の部長と中中央大学の先生にも卓話をしてもらっています。その他昨年7月には石川の市民センター、12月には由木中央市民センターに図書館を開館するというところで、地区図書室を図書館化するという事業を行っております。また、26市に

さきがけまして、導入しました、電子書籍サービスも行っております。総括しますと、乳幼児期から始まる読み聞かせなどの事業を切れ間なく実施する必要性、高校生の不読率の改善を目指した取り組み、子育て世代・勤労世代などの社会人におけるの図書館の活用促進といった取り組み又は、学び直しなど全ての世代における切れ間ない読書活動を支援していくことは人生100年時代における「学び直し」ということへの取り組みが重要になるのではないかと考えます。また、読書を通じて人と人が繋がっていったり、地域コミュニティの活性化に寄与していくことが地域の課題回復に役立つたり情報提供が図書館として求められると考えています。図書館といたしましては様々な関係団体と連携し、人と人とを繋ぐ場として機能していきたいと思えます。さらに最近、図書館では、サードプレイスというところで、ゆったりと、長時間過ごせる居心地のよい環境を考えております。図書館に通いたくても通えない方、や視覚に障害がある。あるいは外国人の方に対するサービスも重要

と考えております。多様化する図書館に対するニーズへの対応の検討や、ユニバーサルデザインの視点に立った読書環境の整備を進めてまいりたいと思えます。

第4次読書のまち八王子 推進計画の策定について

①すべての世代への切れ目ない読書活動支援

乳幼児期から高齢者まで全ての世代が生涯にわたって読書を楽しみ、読書を通じて学び、心豊かに人生を送れるよう発達段階や多様な生活スタイルに応じた自主的な読書活動を支援すると共にグループでの読書活動や多世代の交流を促す読書活動を支援して参ります。主な取り組みといたしましては、小・中学生におけるブックトークや対話を交えた読書活動、体験活動の充実、外国語図書の実践、伝統文化に関する資料の充実もはかっています。また、勤労世代や子育て世代など各ライフステージのニーズを的確に捉えて、学び直しや子育て世代への読書案内、イベント情報等の提供など読書活動の支援を行って読書に親しみやすい層を広げていきたいと思えます。

②つながりによるサービスの展開

図書館と市民、様々な関係団体との連携による取り組みを通して、市民の学びの場や地域の情報拠点としての機能を充実し、地域コミュニティの活性化に寄与します。現在の古本まつりのイベントに協力したりしていますが、今後は市民、地域の書店、商店街、大学など図書館と関係ある企業や団体と連携を深めて本や読書の魅力を発信していき市民のコミュニケーションの場を提供したり、市民同士や地域の繋がりを創出して地域コミュニティの活性化に寄与していきたいと思えます。

③だれもが快適に読書に親しめる環境の整備

多様化する図書館へのニーズに対応するために利用者目線でユニバーサルデザインを考え、障害がある方への読書環境への整備を図って参りたいと思えます。高齢者は老眼等で字が見づらくなっておりますがこういった方にも読書が不自由なくできるように、様々な障害の方でも気軽に読書できるようなサービスを目指してまいります。また、居心地

地のいい空間ということで図書館を利用したことが無かった方も気軽に図書館を利用して読書を楽しめる環境も整備してまいります。

最後になりますが、今後5年間で図書館を利用していない層への働きかけなど、すべての世代への切れ目ない読書活動の支援や、さまざまな団体との連携によるサービスの展開、まただれもが快適に読書に親しめる環境の整備を積極的に進めてまいります。様々申し上げましたけれど、図書館はこれから大きく変わっていくとしております。引き続きご支援、ご理解を賜りますようお願いを申し上げます。



ブックスタート

例会報告

第2585回 ● 2020.2.1 (金)

◇司会 原啓二郎会場監督補佐
◇ご挨拶 黒須隆一名誉会員・黒須弘道会員より

◇開会点鐘 石森浩元会長
◇Rソング 手に手つないで

◇お客様のご紹介

八王子市教育委員会図書館部
部長 佐藤 宏様

八王子市図書館部川口図書館
館長 成田俊雄様

◇食事と交歓 和食

◇出席報告 橋本出席委員長



出席報告
橋本孝出席委員長

会員110名中42名出席。
出席率42・86%。前々回1月
17日の出席率71・43%を
79・59%に修正します。

◇ニコニコ発表

山本正光財務委員



ニコニコ発表
山本正光財務委員

◇会長挨拶 石森浩元会長

*あつという間に2月になってしま
まいます。1年経つのも早い
のだからなと思います。
*本日は例会終了後にクリエ



会長挨拶
石森浩元会長

イトホール5階にて読書感想
画・感想文コンクールの表彰
式がございます。お時間があ
る方はどうぞ足を運んでいた
だきたいと思ひます。

*そのような関係で、本日は八
王子市の佐藤部長に卓話を
お願いした次第です。

*今回で8回目を迎える読書
感想文コンクールと当クラブ
との関りは、三浦パスト会長
と僕が一回目の幹事をやり
ました年度からです。当時4
月に、現在小・中一貫校です
が、当時の子安の第四小学校
の校長が校長会の会長だった
ので依頼に行きました。夏休
みに感想文をお願いしたいと
伝えたら、「今頃持つてきても
スケジュールに入らない」との
ことで厳しい第一印象でした
が、その後校長会へPRに行つ
たところ、一番協力的だった
のはその校長でした。良い事
業というのはいろいろと関わつ
てくださる方がいるんだなど
感じられました。

*表彰式に足を運んでくださつ
ている方が多いので、皆さんも
そう思っているのではないかと
思うのですが、優秀な子は顔
つきが違います。

*本日は佐藤部長の卓話を聞
いていただいて、この事業が
益々盛んになっていくことを
祈念いたしました。冒頭の挨拶
にかえさせていただきます。

◇幹事報告 神辺和幸幹事



幹事報告
神辺和幸幹事

*本日寄付金の領収書を2種
類お配りいたしました。ロータ
リー日本財団からの領収書
は、昨年9月に一人当たり
150ドル寄付をしまして当
時のレートで15900円です。
もう一枚は米山記念奨学会
からの領収書で、半期4000
円でトータル8000円です。
再発行ができませんので大切
にお持ち帰りください。

*本日は14時からクリイトホー
ル5階にて読書感想画・感想
文コンクールの表彰式がござ
います。お時間のある方は是非
ご出席くださいますよう
お願いいたします。

*昨日台湾訪問参加者各位
に、3/29~31の台湾訪問
が新型コロナウイルスの影響に
より中止というご案内を差
しあげましたが、本日八王子
市側と再度協議し、少子様
子を見ようということになり

ました。また進展がございま
したら改めてご案内をいたし
ます。

◇委員会報告

関和之 職業奉仕委員長



委員会報告
関和之職業奉仕
委員長

◇スピーカー紹介

秋間勝仁プログラム委員長



スピーカー紹介
秋間勝仁プログ
ラム委員長

スピーカー

八王子市教育委員会図書館部
部長 佐藤 宏氏
テーマ

「第4次読書のまち八王子推
進計画の策定について」

◇閉会点鐘 石森浩元会長

2020.1.24 (金)
ニコニコボックス

◇石森会長・本日は、伊藤俊
幸様に卓話をして頂きま
す。宜しくお願い致します。
又、兄が大変お騒がせして
いますので。

◇神辺幹事・本日の卓話の講
師をお努めいただきます伊
藤俊幸様、どうぞよろしく
お願い申し上げます。

◇秋間勝仁・伊藤先生 本日
の卓話よろしくお願いま
す。

2020.2.1 (金)
ニコニコボックス

◇石森会長・本日は、図書館
部長佐藤宏様の卓話です。
宜しくお願ひ致します。又
八王子市長選が無事終わ
りました。ありがとうございます

◇神辺幹事・本日の卓話講師
をお務め頂きます八王子市
教育委員会図書館部長佐藤
宏様よろしくお願ひ致します。
また、本日クリイトホール
での読書感想画・感想文コ
ンクール表彰式よろしくお
願ひ致します。

◇黒須隆一・母の葬儀に大変
お世話になりました。

◇黒須弘道・先日の母の葬
儀・告別式では多くの皆様
にご参列、お手伝い頂き無
事と行つたことができまし
た。ありがとうございます。

◇関・八王子市教育委員会図
書館部部長佐藤様をお迎え
して。

◇橋本・今年もよろしくお願
ひいたします。

◇門倉・インニションス
ピーチありがとございま
した。

◇三浦・ (順不同・会員敬称略)

読書感想画・感想文コンクール表彰式



共催

東京八王子西ロータリークラブ
八王子市教育委員会



2020年2月1日(土) 14:00~16:00 生涯学習センター(クリエイトホール)



八王子市長 石森孝志 様



教育長 安間英潮 様



令和元年度読書感想画・感想文コンクール(八王子市教育委員会との継続事業)の表彰式が2月1日(土)午後2時より生涯学習センター(クリエイトホール)で行われました。はじめに主催者として石森浩元会長、八王子市教育長安間英潮様のご挨拶があり、続いて来賓紹介、その中から八王子市長石森孝志様のご挨拶をいただき表彰式に移りました。表彰式では、表彰状授与、台湾派遣認証状授与、読書感想文市長賞受賞者による朗読が行われました。その後記念撮影がおこなわれ、最後に八王子市教育委員会図書館部部长佐藤宏様より閉会の挨拶があり、無事終了しました。ふるさと八王子への愛着をさらに深めることができた一日でした。



読書感想画コンクール受賞者



小学校1・2・3年生の部

小学校4・5・6年生の部

中学校の部

市長賞	堤 友理華 大和田小学校 2	安元 結愛 榎原小学校 5	小野崎円理 中山中学校 2
教育長賞	相吉こころ 大和田小学校 2	難波 京花 みなみ野君田小学校 4	五十嵐杏月子 浅川中学校 3
東京八王子西RC会長賞	北川 絵理 片倉台小学校 1	水原莉佳子 城山小学校 4	内藤千沙都 浅川中学校 2
優秀賞	土屋月久実 緑が丘小学校 3	岡崎 陽香 散田小学校 5	羽瀬 海夏 石川中学校 1
優秀賞	濱岡 紗帆 みなみ野君田小学校 2	加洲 吉理 横山第二小学校 4	山下 修史 浅川中学校 1
入選	久保 彩芽 大和田小学校 1	岩 浅 楓 榎原小学校 5	阿久津ゆら 別所中学校 2
入選	永井そらな みなみ野小学校 3	菊地 悠斗 浅川小学校 6	木原 早葉 別所中学校 2
入選	堀田 和義 元八王子東小学校 2	岸本心太郎 元木小学校 4	久住 和範 榎原中学校 1
入選	桝元 悠希 みなみ野君田小学校 1	酒井 真優 緑が丘小学校 4	佐藤 陽莉 石川中学校 2
入選	三田村 颯亮 散田小学校 3	佐々木美羽 元木小学校 5	椎木 沙弥 桐田中学校 1



小学校1・2・3年生の部

小学校4・5・6年生の部

中学校の部

市長賞	木元 優衣 第四小 3	池野 里娃 みなみ野君田小 6	臼井 杏純 第一中 2
教育長賞	伊東 彩人 松枝小 3	川野 恵都 由木中央小 5	山田 千裕 第四中 1
東京八王子西RC会長賞	伊藤 ゆいな 七国小 3	時本 莉都 みなみ野君田小 6	池田 更紗 浅川中 1
優秀賞	須藤 京介 東浅川小 3	澁川 音 由木中央小 6	古屋 麻緒 榎原中 2
優秀賞	諸橋 悠生 松枝小 3	松澤 ゆい 由木中央小 6	山下 文奈 南大沢中 2
入選	竹井 希 みなみ野君田小 3	石川 鼓乃 みなみ野君田小 6	上田 愛花 鎌水中 1
入選	中島 碧惟 第三小 1	浅見 咲綾 松枝小 5	坂本 恵美 八王子学園八王子中 3
入選	浅見 優斗 松枝小 2	北沢 華恋 城山小 6	彦坂 天音 由木中 1
入選	坪内アメノ 大和田小 3	田島 鈴琉 恩方第二小 5	山田 万琴 浅川中 1
入選	朴 彩希 由木中央小 3	森久保 蒼 由木中央小 5	水野 康太郎 鎌水中 2

読書感想文コンクール受賞者

東京八王子西ロータリークラブ

東京都八王子市旭町 14 番 1 号
 京王プラザホテル八王子 8F
 TEL.042-649-3751 FAX.042-649-3753
<http://www.hachioji-west-rc.org>

会長 石森 浩元 幹事 神辺 和幸
 広報委員会 浅川立憲 小林孝行 原蔵 小杉吉己



皆様の投稿をお待ちしております。お気軽にお寄せください。

アイデアを上げよう : www.rotary.org